



# コンパス住吉台

Tel : 中学校 090-9148-1396    Tel : 小学校 070-1287-8026

住吉台中学校区  
学校支援地域本部だより  
2021年度版

NO. 4

令和3年11月12日発行



中学校

## ★ 防災訓練 ★

10月16日(土)、住吉台中学校防災訓練が行われ、生徒たちは学年ごとに実技訓練に臨みました。もし実際に災害が起きた際には、地域の人たちにとって中学生の力はとても頼りになると思います。生徒たちは皆真剣に訓練に取り組んでいました。



1年生は玄関前と部室棟下で仮設トイレの組み立てを行いました。各クラス5～6名のグループを組み、説明を受けた後、順番に仮設トイレの組み立てから解体までを行いました。どのグループも皆で協力しながらスムーズに完成させていました。



2年生は体育館で、AEDの使い方と心臓マッサージの方法を学びました。心臓マッサージでは実際に人形を使って、胸骨圧迫(約5cm胸が沈むように数十回繰り返す)を一人一人体験しました。肘を伸ばしたまま真上から強く押すなど、大切なコツをふまえて行いました。



3年生は武道館で、防災備蓄倉庫にある照明器具の組み立て・発電機操作・簡易担架の使い方などを学びました。

生徒たちは、倒れてる人を一人で運ぶ場合、複数人で運ぶ場合の運び方や、素材の違う簡易担架の使い方を教えてもらい、体験しました。





# 小学校

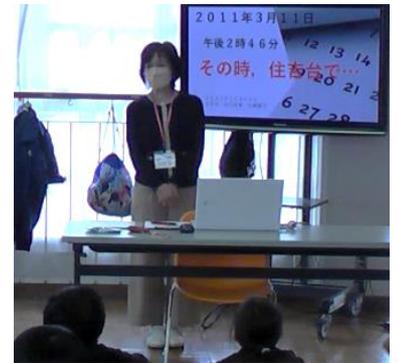


## ★ 5・6年生 防災授業 ★



10月18日(月), 小学校では, 各学年で防災授業が行われました。5年生は, 仙台市地域防災リーダーの伊藤啓子さんから防災に関するお話を伺いました。防災力を試すクイズに始まり, 避難所を持って行くリュックの中身の紹介では, 実際に伊藤さんのリュックの中身をテーブルに出して, 防災時に役立つ身近な物の説明を受けました。最後に新聞紙を使ったスリッパを全員で作りました。スリッパは災害で室内が危険な時や避難所等でも活躍するそうです。簡単に作れる新聞紙スリッパを実際に履いてみて, 子供たちは「使えるね!」と感心していました。

同日6年生は, 震災時の住吉台の被災状況とその活動について, コンパス住吉台の佐藤慶子さんからお話を伺いました。佐藤さんは当時勤務されていた先生方や多くの地域の方々に取材, ご自身の体験も含めて話してくださいました。校舎や体育館, 民家の被害状況, 中学生が町内会の安否確認や給水の手伝いなど大きな力になったこと, 地域の方によるトイレ用水の確保や給水がなされたこと, 対策本部だった小学校体育館の片付けに中高生など約200人が集まったこと, 中学校の校舎が被災したため, 新学期には中学生が小学校校舎に通ったこと等, 多くのエピソードが紹介されました。10年前は赤ちゃんだった6年生。当時の中学生や大人たちが, 誰かのためにと前向きに行動していたことを心にとめてくれたことなのでしょう。来年からは「地域の力」となる中学生になってくれることを期待しています。



## ★ 読み聞かせボランティア ★



「社会学級読み聞かせボランティア」の皆さんによる「読み聞かせ」が再開しました。例年は毎週月曜日の朝, 全クラスに読み聞かせが行われていました。昨年度は, 放送による読み聞かせやDVDを駆使しての読み聞かせが数回行われました。

コロナ感染者の減少に伴い, 9月27日(月)から, 2学年ずつ順番に入る形でようやく教室での読み聞かせが再開しました。1, 2年生にとっては地域の方による教室での読み聞かせは初めて。読み終わると「もっと聞きたい。」という声も聞かれたそうです。

読み聞かせボランティアさんも児童の前での久しぶりの読み聞かせに「緊張しました～子どもたち大きくなりましたね。」と嬉しそうに感想を述べられていました。